日本卓球リーグ＜歴史＞

年度	西暦年（元号）	登録チーム数 1男 1女 2男 2女 3男 3女	計	前・後期リーグの1部優勝チーム（上列＝前期、下列＝後期） 開催地（2は2会場、3は3会場）	男子（最高殊勲選手）	女子（最高殊勲選手）	ファイナル4 男子 / 女子	ビッグトーナメント 男子優勝者（ ）内はダブルス / 女子優勝者（ ）内はダブルス	全日本選手権優勝（◎印＝日本リーグ所属のチームまたは個人） 団体の部 男子	団体の部 女子	男女シングルス 男子	男女シングルス 女子	説明	外国籍選手 男子	外国籍選手 女子	外国籍選手 計
41	'17（平29）	8 8 9 6 — —	31	松江 京都	東京アート（張　一博） 協和発酵キリン（平野　友樹）	アスモ（永尾　尭子） サンリツ（平　侑里香）	協和発酵キリン 日本生命	吉村　和弘 田代　早紀	◎ 協和発酵キリン ◎（協和発酵キリン）	◎ 日立化成 ◎（アスモ）	張本　智和	伊藤　美誠	・40周年記念事業として「記念大会の開催」「40周年記念誌の発刊」を行った。卓球公式戦では初となるホテルでの男女シングルス決勝戦。 ・前後期及びファイナル4において経済産業省の後援を得る。 注：①シチズン＝シチズン時計、川鉄千葉＝川崎製鉄千葉、第一勧銀＝第一勧業銀行、武田薬品＝武田薬品湘南、協会＝日本卓球協会　の略。 ②平成15年度以降の「全日本団体」優勝欄のカッコ内は、協会と共催事業となった実業団選手権の優勝チームを表す。	5	5	10
42	'18（平30）	8 8 10 7 — —	33	高知 酒田	リコー（有延　大夢） シチズン時計（御内健太郎）	十六銀行（松澤茉里奈） 中国電力（土田　美佳）	リコー 中国電力	松平　賢二（森田　侑樹・神　巧也） 松澤茉里奈（平　侑里香・松本　優希）	◎ リコー ◎（シチズン時計）	ジュニアナショナルチーム ◎（日立化成）	水谷　隼	伊藤　美誠	・平成30・31年度新任役員：△会長　原田弘人（原田鋼業会長）　△副会長　重藤隆文（中国電力取締役常務執行役員） ・ビッグトーナメントを「日本卓球リーグ選手権」として全選手参加型に変更。ダブルスも行う。 ・背番号制の導入。 ・JTTL選抜大会出場チーム最多45チーム。 ・Tリーグ開幕。日本リーグ所属選手の出場をレンタル制として認める。	5	6	11
43	'19（令1）	8 8 9 7 — —	32	豊田 秋田	東京アート（高木和　卓） 東京アート（吉田　海偉）	十六銀行（安藤みなみ） 中国電力（成本　綾海）	愛知工業大学 十六銀行	有延　大夢（鹿屋・良平・有延　大夢） 宋　恵佳（土田　美佳・宋　恵佳）	◎ 東京アート ◎（東京アート）	◎ 中国電力 ◎（十六銀行）	宇田　幸矢	早田　ひな	・日韓定期戦を沖縄県宜野湾市で開催。　・JTTL選抜大会10回大会を迎える。2016年度から4年連続7ブロック開催。 ・JTTLファイナル4を新トーナメント方式で実施。	4	4	8
44	'20（令2）	8 8 9 6 — —	31	三重 熊本	—	—		— —	— （—）	— （—）				2	4	6